

## 国産の自動飛行ドローン「Nile-JZ」 販売開始

— 可変散布に対応し、環境に優しく —

株式会社ナイルワークス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：小嶋 康弘、以下「ナイルワークス」）は、2023年10月11日（水）、国産の自動飛行ドローン「Nile-JZ」の販売を開始します。可変散布にも対応し、環境負荷の低減にも貢献します。

### 国産の自動飛行ドローン

「Nile-JZ」は、ハイスペックドローン開発コンソーシアムで開発した機体をベースに、ナイルワークスの独自の自動飛行技術を搭載しています。旧機種「Nile-T20」で培った高い自動操縦機能を更に進化させ、ネットワークRTKに対応しています。作業効率は旧機種対比で20%アップし、より精密でより高度な散布を実現します。農業未経験者でも、誰もが散布のエキスパートになれます。

可変散布対応 スマート農業機

# Nile-JZ

国産ドローン      自動飛行



また、機体は折りたたむ構造で、圃場への移動や収納に便利です。バッテリーや液剤・粒剤タンクは、素早く交換できます。コンパクトで取り扱いが簡単なので、ご高齢の方や女性でも、安心してご利用いただけます。

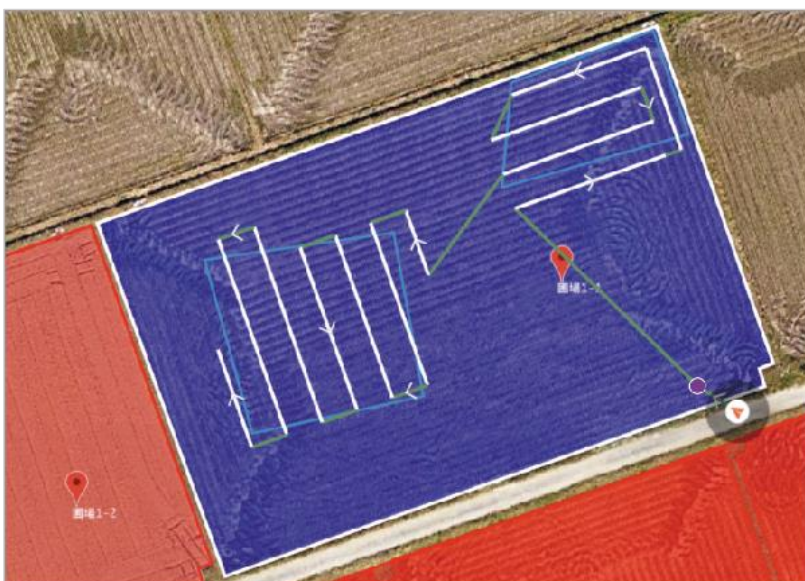
### 高精度な自動飛行 コンパクトサイズ&簡単なバッテリー・タンク交換



### 可変散布で、環境負荷の低減へ

「Nile-JZ」は、様々なタイプの自動飛行を実現します。高度・散布幅・外周回数・散布流量・飛行方向を設定でき、飛行経路は、スマートフォンを使い、オンデマンドですぐに自動生成されます。さらに、衛星データや生育監視ドローンから取得するデータを活用し、可変散布にも対応しています。自社の栽培支援プラットフォーム「NileBank」との連携だけではなく、他社ソフトとの連携も予定しています。

必要なエリアに、必要な量の散布を実現することにより、農林水産省の「みどりの食料システム戦略」に掲げられている2050年までに化学農薬の使用量をリスク換算で50%低減、化学肥料の使用量を30%低減するという目標達成に寄与することにもつながります。



### 可変散布 必要なエリアに、必要な量を散布



## 販売概要

- カタログ：<https://www.nileworks.co.jp/pdf/Nile-JZ.pdf>  
詳細な特徴やスペックは、カタログを参照ください。
- 販売日：2023年10月11日（水）
- 販売価格：オープン価格
- お問い合わせ：
  - LINE：<https://page.line.me/nileworks>  
デモ飛行・イベント・見積依頼・研修申込など、最新情報の確認・相談ができます。
  - 電話：03-5577-3071
  - 公式サイト：<https://www.nileworks.co.jp/product/nile-jz/>

### ■お知らせ

10月11日(水)～13日(金)に幕張メッセで開催される「第13回 農業 WEEK」で、「Nile-JZ」を展示しています。  
招待券)>><https://www.agriexpo-week.jp/tokyo/ja-jp/visit/e-ticket-ex/jgep/aw.html?co=ye13228>

### ■関連情報

本製品は、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構／NARO）が事業実施主体である国際競争力強化技術開発プロジェクト「安全安心な農業用ハイスペックドローン及び利用技術の開発」を受託（2021年6月）したハイスペックドローン開発コンソーシアム(※)の事業で開発された機体をベースにしております。

※ハイスペックドローン開発コンソーシアム

代表機関：ヤマハ発動機株式会社

共同研究機関：

〈企業〉株式会社ザクティ、株式会社ザクティエンジニアリングサービス、株式会社ナイルワークス、ヤンマーアグリ株式会社

〈研究機関〉農研機構、大分県農林水産研究指導センター、鹿児島県農業開発総合センター、佐賀県農業試験研究センター、長崎県農林技術開発センター

### ■会社概要

 **Nileworks**

設立：2015年1月

所在地：東京都千代田区神田錦町一丁目4番3号

代表者：代表取締役社長 小嶋 康弘

事業内容：農業用ドローンの開発、製造、販売

デジタル農業・農業DXにおける技術開発、サービス提供

農作業マッチングサービスを提供

URL：<https://www.nileworks.co.jp>

以上

本件に関する問い合わせ先

株式会社ナイルワークス 広報

TEL:03-5577-3071 Email:pr@nileworks.co.jp